

初心に帰り、謙虚に国民の声を聞き、しっかり政策を実現して行きます。



総務副大臣認証式後、官邸にて副大臣会議が行われました。責任の重さに身の引き締まる思いで臨みました。



第41回政策評価審議会に出席。総務副大臣として、「行政運営改善調査に係る審議を行う審議会の役割は非常に大きい」旨の話をさせていただきました。



第79回全国戦没者遺族大会で国会対応の大臣の代理として、ごあいさつの代読をしました。



総務副大臣として消防関係褒章伝達式の出席。



「令和7年秋田市消防出初式・表彰式」に出席し、総務副大臣としてあいさつをさせていただきました。



秋田駐屯地20歳の集い
自衛官、社会人として責任を持ち、活躍することを期待します。



秋田市公設地方部卸売市場
新春朝食会。

地震災害対応支援を最優先に！

総務副大臣として石川県輪島市を現地視察



被害の状況を出坂輪島消防署長から説明を受けました。



石川県庁にて馳石川県知事と意見交換



坂口輪島市長と意見交換

総務副大臣として全国各地からの財政支援などの要望に対応しております。



佐竹敬久知事からの要望
道路除雪費への財政支援など要望を承りました。



横手市からの要望
特別交付税について要望を承りました。



由利本荘市からの要望
災害復旧に関する経費と、学校整備事業への要望を承りました。



大館市・鹿角市からの要望
特別交付税について要望を承りました。

アンケート

どんなことでも構いません。あなたの声を私に聴かせてください！

今春4月に秋田県知事選・秋田市長選・秋田県議補選（秋田市選挙区）が行われます。

該当する答えに□に✓してください。

■秋田県知事選

Q 1. あなたは上記の選挙に投票に行きますか？

☐ 行く ☐ 行かない ☐ わからない

Q 2. 上記ご回答の理由をお書きください

Q 3. 上記設問にて「行く」とお答えの方にお聞きします。

どのような候補者に投票しますか？ご自由にお書きください

例）・今までとおり県政を進める候補者・新しいことにチャレンジする候補者などなど

■秋田市長選

Q 4. あなたは上記の選挙に投票に行きますか？

☐ 行く ☐ 行かない ☐ わからない

Q 5. 上記ご回答の理由をお書きください

Q 6. 上記設問にて「行く」とお答えの方にお聞きします。

どのような候補者に投票しますか？ご自由にお書きください

例）・今までとおり市政を進める候補者・新しいことにチャレンジする候補者などなど

Q 7. あなたは現在の石破内閣を支持しますか？

☐ 支持する ☐ 支持しない ☐ わからない

Q 8. 上記の理由をお書きください

Q 9. 支持する政党はどちらですか？

☐ 自由民主党 ☐ 立憲民主党 ☐ 公明党 ☐ 日本維新の会
☐ 日本共産党 ☐ 国民民主党 ☐ れいわ新選組 ☐ 参政党
☐ その他 ☐ 支持政党はない

Q 10. もっとも関心のある政策はなんですか？

●ご意見

よろしければご記入ください。※該当する性別、年齢層に○をつけてください。

性別 男 ・ 女

年齢層 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

ホームページ・スマートフォンから
ご回答できます！



FAXでもご回答いただけます。018-839-7911
ご記入いただき下記番号に送信してください。

成果で応え、ともに信じた道で 日本を守り、秋田を前に！

皆さまにはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。
昨年は7月及び9月に発生した豪雨災害により由利本荘市で甚大な被害が発生しました。また、一昨年は秋田市中心地で内水氾濫や中規模河川の氾濫により多くの施設や家屋が被害を受けました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興、減災に努めてまいります。

そしてこの度、第2次石破内閣発足にあたり、総務副大臣を拝命し、内閣の一員として務めることとなりました。担当である行政管理・評価、統計、恩給、地方行財政制、消防分野について政策の実現とともに、内閣府と連携して地方創生の推進に精励努力してまいります。就任以降の動きを紹介しますと、まずは、自治体の財源確保に尽力し、いわゆる「103万の壁」を巡る議論もある中で、令和7年度の地方財政対策においては、前年を1.1兆円上回る 63.8兆円の一般財源総額を確保することができました。また、消防分野においては、消防団員の確保に向けて、退職報奨金に35年以上の区分の新設(10万円引き上げ)や自治体向けのマニュアル策定などの対応を行ったところです。

今年の干支は「巳」です。巳は、古来より再生や変化の象徴とされており、私たちに新たな挑戦と成長の機会を与えてくれるといわれるように、この一年、国政においても変化を恐れず、柔軟な発想で新たな政策を推進していく所存です。特に、地域の皆さまの声をしっかりと受け止め、より良い社会の実現に向けて邁進してまいります。

政府は、昨年12月27日、一般会計の総額がおよそ115兆5,415億円となる来年度予算案を閣議決定しました。内訳は、高齢化に伴い医療や年金などの社会保障費が、38兆2778億円、地方自治体に配分される地方交付税交付金等は19兆784億円、子育て政策の強化を本格的に実行する為の子育て支援として7.3兆円を計上しています。

補正予算と合わせ、賃上げと投資が牽引する成長型経済への移行を確実なものにし物価高騰とのバランスをとる為には、予算の早期執行が重要であり予算案の早期成立のために取り組んでまいります。

今後も地元秋田に軸足を置いて皆さまの声に耳を傾けながら政治活動を進め、誠心誠意努めてまいりますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

衆議院議員 富樫 博之



選挙後、初登院



国会正面玄関にて
議員バッジをいただきました。



在京秋田県人 新春交歓会

在京秋田県人新春交歓会が1月22日に東京都渋谷区のセルリアンタワー東急ホテルで行われました。
秋田県出身者やゆかりの方々約290人が出席いたしました。改めてふるさと秋田の発展に向け力を合わせていくことを誓い合いました。

討議資料

とがし博之事務所

秋田事務所

(自由民主党秋田県第一選挙区支部)
〒010-1427 秋田市仁井田新田3-13-20
TEL.018-839-5601/FAX.018-839-7911
E-mail:hiroyuki@togachan.jp

東京事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館1019号室
TEL:03-3508-7275(直通)FAX:03-3508-3725

